



宇和海の くらしと景観



2025

2月15日土 → 4月6日日

休館日：2月17日(月)、25日(火)、3月4日(火)、10日(月)、17日(月)、24日(月)

開館時間：9：00～17：30(入場は17：00まで)

主催：愛媛県歴史文化博物館

後援：愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・

あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・ケーブルネットワーク西瀬戸・八西CATV・

西予CATV・宇和島ケーブルテレビ・FM愛媛・FMがいや

愛媛県歴史文化博物館

MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 0894-62-6222 i-rekihaku.jp



宇和海の くらしと景観

愛媛県南予地方の宇和海沿岸部では古代、中世からイワシ漁などの漁業が盛んであり、江戸時代以降、リアス海岸の急傾斜地農地を活かした芋・麦を中心とする農業が定着しました。そして近代に入ると、いりこや干物、かまぼこ、じゃこ天等の水産加工業、はまち・鯛や真珠等の養殖業、そして柑橘農業が全国有数の産業として発展しました。

近年、宇和海沿岸部の農業、漁業に関する文化資源は、国重要文化的景観に「遊子水荷浦の段畑」が、平成19年「宇和海狩浜の段畑と農漁村景観」が平成31年に選定されました。

本展示では、村上節太郎氏撮影写真など当館所蔵資料を中心に宇和海沿岸部の農業・漁業に関する歴史・民俗資料等を展示し、南予地方の農業・漁業の振興や将来に向けて景観保全に寄与することを目的としています。

宇和海のくらしと景観に目を向け、そこで営まれてきた生業とともに、宇和海の魅力に触れていただければ幸いです。



イワシ網などの漁法を描いた絵図
鯧網曳之図「漁業旧慣調」明治8～11年 愛媛県立図書館蔵



昭和28年の板図を基に復元したツリフネの模型
模型(ツリフネ) 当館蔵



藤原純友の乱に関する記事
『日本記略』大洲市立図書館蔵



戸島浦の漁場を描いた絵図
戸島浦海面漁場絵図面 明治初期 戸島歴史文化保存会蔵・当館保管

特別展開連ミニシンポジウム

南予の柑橘農業の歴史と文化

日 時：2025年3月9日(日) 13:30～15:00
講 師：宮本 春樹氏(予土歴史文化研究会)
 大本 敬久氏(愛媛大学特定准教授)
 福井 雅美氏(愛媛県農政課)

特別展開連講座

「安政南海地震による宇和海沿岸部の津波被害」

日 時：2025年3月15日(土) 13:30～15:00
講 師：井上 淳(愛媛県歴史文化博物館 学芸課長)

*ご来館を予定されるお客様へ
会期中のイベントの予定や内容に変更が生じる場合があります。
博物館ホームページなどにより最新の情報をご確認ください。



観覧料

大人(高校生以上) - 550円(450円)
65歳以上 - 350円(300円)
小中学生 - 350円(300円)

* ()内は20名以上の団体料金
* ほかにお得な常設・特別展共通観覧券もあります。



【交通アクセス】

- 車 松山自動車道 松山ICから西予宇和IC 経由で約50分
- JR 松山駅から卯之町駅まで特急で約1時間
- バス 卯之町駅から歴史博物館行き(約7分)、歴史博物館下車

愛媛県歴史文化博物館

MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 0894-62-6222 i-rekihaku.jp

管理運営・指定管理者 いよてつ総合企画

